

原子力安全検討会
第 2 回 議事録

日 時： 2012 年 5 月 31 日（木） 10：00 ～ 12：15

場 所： 仏教伝道センター 7 階 会議室「見」

出席者： 田中主査（東大）、関村委員（東大）、中村委員（阪大）、山口委員（阪大）、宮野委員（法政大）、山下委員（JNES）、更田委員（JAEA）、飯倉委員（東芝）、加納委員（MHI）、守屋委員（日立）、千種委員（関電）、岩田委員代理（東電）、成宮分科会幹事（関電）、河井分科会幹事（原技協）

オブザーバー： 平川（原技協）、窪小谷（原技協）、大田（関電）

事務局： 菅野（原子力学会）

（敬称略）

配付資料

資料 2-1．第 1 回原子力安全検討会 議事録（案）

資料 2-2．原子力安全確保のための基本的な考え方について（中間報告書（案））

参考資料

参考 1．第 1 回原子力安全検討会 議事メモ（案）

議事及び主な質疑応答

（ 1 ） 前回議事録確認

成宮幹事より、資料 2-1 を用いて、第 1 回原子力安全検討会の内容について確認が行われた。確認の結果特にコメントは無く、議事録は正式に承認された。

（ 2 ） 原子力安全分科会の検討状況の報告

成宮幹事より、資料 2-2 を用いて、原子力安全の目的、基本原則案について説明があり、以下の審議がなされた。

（基本原則の完備性について）

- ・基本原則は 3 カテゴリ 11 原則で全てか。基本原則の全体構造を明らかにし、原則の完備性を示す必要がある。
- ・主体・施設・被体と、達成するための概念という 2 つの観点で整理すると、技術的要件に繋がる基本原則の全体像を示すことが出来ると考える。分科会で議論したい。

（原子力安全の目的について）

- ・原子力安全の目的の 1～3 項は、“目的”ではなく“原則”にあたる内容に見える。

安全の目的の主文と、目的を達成するための要件(1~3項)の関係性を明確にする必要がある。

(基本原則のあり方について)

- ・ 原子力安全の目的は変わり得るものであり、目的が変化するのに応じて対応していく必要があるが、その考え方が示されていない。
- ・ 現時点でこの原則の文章が正しいと言えるかを吟味し、その上で、継続的に見直しを行う必要があることを最初に謳っておくべきではないか。
- ・ 社会通念、社会の要請に対する感受性を持って原則を管理していくという主旨を追記することを考える。

(安全目標との関係、安全原則の構成について)

- ・ 本原則では、安全目標との関係をどのように意識しているか。安全目標自体を原則で論ずる必要はないが、関係性は言及されてよいのではないか。また、想定外に備えるということがどういうことかについて記載すべき。
- ・ 安全目標については社会通念との関係もあり本原則で触れることは難しい。想定外については、深層防護、安全文化、継続的改善との関係で読み取れるようにしたい。
- ・ 安全原則の構成として、普遍的な部分、変わり得る部分(例えば原則主文; 普遍、細則 - 安全の目的に応じて変わり得るもの)が読み取れる構成にする必要がある。

(原子力利用の便益、正当性について)

- ・ 便益が過去のものになってしまった時に、どのような考え方で活動の正当性を説明し、継続的改善を求めていくべきかを考えると、「ライフサイクルを通じて原則を適用する」という文言だけでは不十分ではないか。
- ・ 活動そのものに利益があるかどうかだけでなく、“時間と空間の広がり”を考慮する必要があることを原則 6(人および環境への放射線リスクの制限)に記載している。
- ・ 原則 6 だけでなく、原則 8(原子力施設と活動の正当性の説明)にむしろその主旨を明示的に記載すべき。

(原則 8 について)

- ・ 原則 8 は、リスクベネフィットの説明責任があることや、安全を守るという大きな目的のためには、状況によっては(線量限度のような)通常の制限を外すことが出来ること、また、その正当性を説明する義務があることを記載する必要がある。

(原則 9 について)

- ・ 「事故の発生防止及び影響緩和」とあるが、発生防止をすると影響緩和の妨げになることもある。原子力安全の目的において、何を守るべきなのかをしっかりと記

載する必要がある。

(原則 9-11 について)

- ・原則 9.2、9.3 に深層防護の概念を書いて欲しい。また、原則 9.4 では唐突に AM の話が出てくるが、ここでは政府報告書の 28 項目に言及して欲しい。

(3) 今後のスケジュールについて

成宮分科会幹事より、今後のスケジュールについて説明がなされた。

また、2012 年秋の原子力学会秋の大会での、本件に関する企画セッションの予定が紹介された。

なお、中間報告書案の内容については、6/5 の学協会規格類協議会で紹介することとなった。

(4) 次回検討会日程

次回検討会は、9 月 3 日(月)10:00 ~ 12:00 に開催することとなった。

以上